

夢みる力 ～自分と世界をつなぐ～

所属	愛知県弥富市立弥富北中学校	実践者	児玉 やこ	
対象	中学1年 146名	時間数	30時間	
場所	教室・体育館	実践教科	総合的な学習の時間	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の夢(目標)をもって、その実現に向けて前向きに取り組むことができる。 ・仲間とともに、気づき・考え・行動することができる。 ・グローバルな広い視野をもち、学びや体験を自分の生き方につなげる実践力を身に付ける。 			
実践内容	回	プログラム	備考	
	1	<1学期「世界と出会う」> ・どうなっているの？世界と日本	・冊子「どうなってるの？世界と日本」 ・図書「世界のともだち」 図書「わたしはマララ」 冊子「SDGs」 ・教師海外研修の写真	
	2	・世界一大きな授業		
	3～6	・自分が出会った世界を紹介しよう(調べる→まとめる→プレゼンする)		
	7	・JICAエッセイコンテスト・プランジャパン読書感想文		
	8	<2学期「世界を知る」> ・パラグアイってどんな国？ パラグアイの写真から(フォトランゲージ・KJ法)		
	9	・世界はつながっている！ つながっていると思うこと(プレスト)・どんな世界になってほしい(派生図)		
	10	・世界の課題って何だろう？ どんな課題があるだろう(リストアップ)・課題の原因は何だろう(因果関係図)		
	11・12	・貿易ゲーム	・教師海外研修の写真 ・ゴマ(実物) ・教師海外研修の写真 ・世界のデータ ・SDGs 展示 ・ウガンダ給食 ・冊子「SDGs」 ・教師海外研修の動画	
	13	・貧困の連鎖を断ち切ろう		
	14～22	・校外学習「緑の夢って何 JICAR？」(なごや地球ひろば・トヨタ産業技術記念館) (事前学習→訪問・見学→まとめ→プレゼン)		
	23	・SDGs に向けてできること		
	24	・パラグアイで活躍する日本人		
	25	・ぼく・わたしは何をする？ 地球市民としてできることを考えよう(行動計画表)		
	26	<3学期「生き方を考える」> ・夢をもつてすばらしい！ パラグアイで見つけた夢・夢をもつとどんないいことがある(派生図)		
	27	・ラオスで活躍する日本人		
	28	・働くってどういうこと？		
	29	・夢を叶えるために 夢を叶えるために必要なこと(力の分析)・決意表明(文章化)		
	30	・1年間を振り返って・来年度に向けて		
	成果	年間を通して、国際理解とキャリア教育の参加型授業を実践し、仲間と意見を交流させながら学びを深めることができるようになった。パラグアイと肯定的に出会うことで世界に興味を抱き、世界と自分がつながっていることを実感することで、世界の課題のために一歩踏み出すことができた。		
	課題	生徒が自ら考えたり気付いたりするためのきっかけとなる資料の精選が必要であると感じた。また、生徒の考えを深める効果的な資料の提示方法やタイミングを熟考したい。		
	備考	来年度は、総合的な学習の時間と行事(職場体験・広島平和学習)をリンクさせ、社会貢献を意識したキャリア教育と、世界の平和と世界中の人々の幸せ実現のための国際理解教育を進めていきたい。		

[授業実践の詳細]

1-7 時限目「世界と出会う」(1学期)

この時限のねらい

- ・世界の現状やさまざまな国に目を向け、興味をもつことができる。
- ・自分の考えを伝えたり、仲間の意見を聞いたりすることで、自ら学びを深める態度を身に付ける。

1 子どもの活動の流れ

- ① 「どうなっているの？世界と日本」 <教材1>
 - ・世界と日本の現状についてクイズを通して知り、今後の学習の見通しをもった。1日の生活費・就学率・5歳以下の子どもの死亡率などを、日本・アジア・アフリカ・南米ごとに知った。
 - ・世界と日本がつながっていると思うことを、グループで3つ考え発表した。
- ② 「世界一大きな授業」 <教材2>
 - ・世界の識字率について知り、字が読めないときどのように困るのか、体験を通して考えた。
 - ・世界の教育費や軍事費について知り、世界平和のためにどのような改善が必要か考えた。
- ③ 「出会った世界を紹介しよう」 <教材3>
 - ・図書「世界のともだち」・図書「わたしはマララ」・パンフレット「持続可能な開発目標」から資料を1つ選び、まとめてプレゼンテーションした。



<①オリンピック世界とつながってるね>



<②軍事費ってこんなに多いの?!>



<③SDGsのためにフェアトレード!>

2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ 世界とつながっていると思うことを話し合う活動では、友達の意見に耳を傾けながら「オリンピック」「ボランティア」「貿易」などさまざまなキーワードを挙げる事ができた。
- ◇ 「世界一大きな授業」では、体験活動や視覚に訴える教材によって、世界の課題を驚きとともに受け取っていた。
- ◇ SDGsについて調べたグループは、中学生である自分たちが課題解決に向けてどんな取組ができるのか考え、世界全体でゴールに向けて努力することの必要性を聴衆に伝える事ができた。

3 使用した教材

- <教材1> JICA パンフレット『どうなってるの？世界と日本』
- <教材2> 世界一大きな授業/JNNE 2016
- <教材3> 『世界のともだち』/偕成社、『わたしはマララ』/学研プラス、パンフレット『持続可能な開発目標』

8 時限目「パラグアイってどんな国？」

この時限のねらい

・パラグアイと肯定的に出会い、パラグアイの生活や文化、人々に興味をもつことができる。

1 子どもの活動の流れ

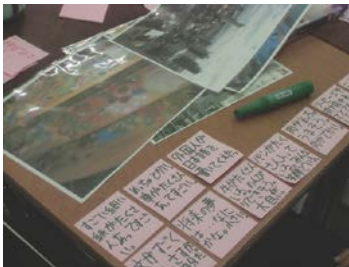
- ① アイスブレイキング
 - ・「行ってみたい国」「将来の夢」をグループで発表し合った。
- ② 「パラグアイってどんな国？」【フォトランゲージ】 <教材4>
 - ・写真を見て、気づいたことを付箋に書き出した。



左【石畳の道を馬車が走る町、なんだか懐かしい】

右【大きな肉を庭で焼く、絶品！】

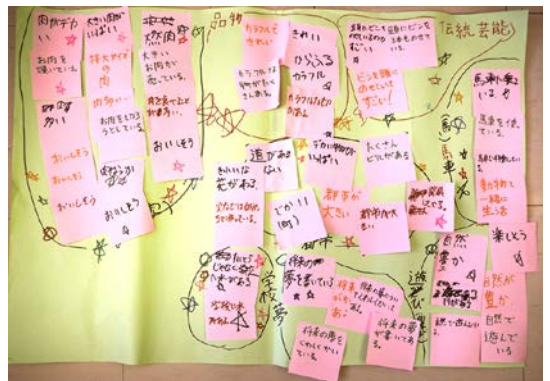
- ・グループでKJ法を用いて意見交流した。
- ・他グループの模造紙を見て、「なるほど」「いいね」と思った意見に☆マークを付けた。



<パラグアイって意外に都会！>



<その意見いいね☆付けよう！>



<わたしと同じ夢をもつ子がいたよ！>

- ・写真を見ながら、パラグアイの生活や文化について話を聞いた。

2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ パラグアイの食事や伝統文化、自然、子どもたちの写真を見て、「おいしそう！」「肉が大きくて安い」「カラフルな花がかわいい(ニヤンドウティ)」「桜のような花が咲いている」「子どもがかわいい」「わたしたちと同じような夢をもっている」など、さまざまな気づきがあった。
- ◇ 初めてパラグアイについて知った生徒が多く、パラグアイを肯定的に受け止めたり、共通点を見つけたりする生徒が多かった。
- ◇ 教師海外研修で見てきたことや感じたことを写真とともに紹介すると、興味津々に話を聞いていた。

3 使用した教材

<教材4> 教師海外研修の写真

9 時限目「世界はつながっている！」

この時限のねらい

- ・自分と世界のつながりについて考え、地球市民の一員であることに気付く。

1 子どもの活動の流れ

- ① アイスブレイキング
 - ・「願いが1つ叶うとしたら」「自分がお世話になっている外国のもの」をテーマにして、グループで話し合った。
- ② 「世界とつながっている」
 - ・自分や日本がどのようなことで世界とつながっているのか考え、グループで派生図を作った。
 - ・派生図を作る途中で、考えを広げる視点を増やすために、資料を提示した。 <教材5・6>
 - ・他グループの模造紙を見て、「なるほど」「いいね」と思った意見に☆マークを付けた。
- ③ 「どのような世界になってほしい？」
 - ・自分たちの手で創るみんなの世界を、どのような世界にしたいか派生図を書いて考えた。



<②わたしたちの生活には世界の物があふれているね！>



<③ぼくたちがこんな世界を創るんだ！>

2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ オリンピックなどのスポーツのイベントや衣類・食品など日常にあふれている輸入品、SNS などの情報入手手段など、さまざまな視点でつながりを見つけた。
- ◇ 青年海外協力隊の方の写真やパラグアイの車・電化製品の写真を見せると、日本の技術が世界に貢献していることに気付くことができた。
- ◇ 最初のアクティビティで自分(日本)と世界がつながっていることを実感させたため、「どのような世界になってほしいのか」考える活動では、自分たちがすべきことまで考えを広げることができた。

3 使用した教材

- <教材5> 教師海外研修の写真
- <教材6> パラグアイ産のゴマ(実物)

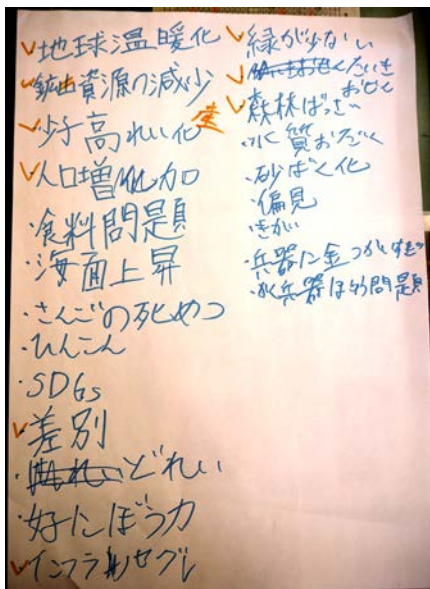
10 時限目「世界の課題って何だろう？」

この時限のねらい

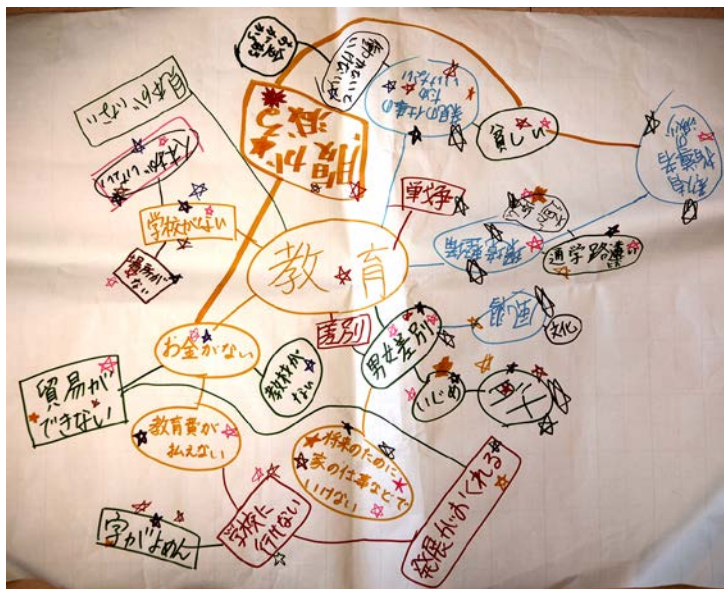
- ・世界の課題に目を向け、課題の原因を考えることで、解決に向かう意欲を高める。

1 子どもの活動の流れ

- ① アイスブレイキング
 - ・「幸せな瞬間」についてグループで発表し合った。
- ② 「世界にはどんな課題があるだろう？」 <教材7>
 - ・グループで、世界に存在する課題を思いつくまにリストアップした。
 - ・途中で、パラグアイの写真や環境問題についての資料を提示することで、生徒の視野を広げた。
 - ・学級全体で意見交流した。
- ③ 「課題の原因は何だろう？」
 - ・グループで考えてみたい課題を選び、因果関係図を用いて原因を追究した。
 - ・他グループの模造紙を見て、「なるほど」「いいね」と思った意見に☆マークを付けた。
 - ・他グループの模造紙を見て、新しい視点や因果関係図の付け足しを行った。



<②世界にはたくさん課題があるんだな！>



<③教育課題は児童労働や差別とも深くつながっているんだ！>

2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ 前時に考えた理想の世界と世界の現状には大きな差があり、多くの課題を解決しなければならないことを実感した。
- ◇ それぞれのグループでさまざまな課題の原因について考えたが、課題同士はつながり合っていて、悪循環が生まれていることに気付いた生徒が多くいた。
- ◇ 他グループの意見に付け足しをすることで、全員がさまざまな問題について考えることができ、考えを深め合うことができた。

3 使用した教材

<教材7> 大気汚染・森林伐採・エネルギー問題・核兵器・砂漠化・地球温暖化の写真

11-22 時限目「世界の課題・校外学習」**この時限のねらい**

- ・世界の経済の仕組みや貧困の原因について知り、解決する手立てを考えることができる。
- ・SDGsについて知り、目標達成のために自分が地球市民としてできることを見つけることができる。

1 子どもの活動の流れ

- ① 「貿易ゲーム」 <教材8>
- ② 「貧困の連鎖を断ち切ろう」 <教材9>
- ③ 校外学習「緑の夢って何 JICAR？」事前学習→校外学習→まとめ→プレゼンテーション
 - ・「JICA 中部なごや地球ひろば」の SDGs 展示やウガンダ給食、講話から、世界の課題とその解決策について学んだ。
 - ・「トヨタ産業技術記念館」では、夢を追う豊田氏の生き方や考え方を学んだ。



<③地球ひろばでSDGsについて学んだよ！>

2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ 貿易ゲームや貧困の連鎖のアクティビティを通して、開発途上国の経済が発展しづらい理由を知ることができた。
- ◇ 先進国が自国の利益だけを追っているのは SDGs が達成されないことを学び、自分たちにできることを始めようと意欲をもった。

3 使用した教材

- <教材8> <http://www.jca.apc.org/unicefclub/unitopia/1999/boueki.htm>
- <教材9> JICA 国際理解教育実践資料集「負の連鎖のワークショップ」

23-25 時限目「ぼく・わたしは何をする？」**この時限のねらい**

- ・SDGs 達成に向けて、地球市民である自分にできることを考え、実行する意欲をもつことができる。

1 子どもの活動の流れ

- ① 「SDGs に向けてできること」 <教材10>
- ② 「パラグアイで活躍する日本人」 <教材11>
- ③ 「ぼく・わたしは何をする？」【行動計画表】

2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ 中学生である自分にも、今できることがあり、力を合わせて行動することの必要性を感じていた。
- ◇ 行動計画表を作ることで、将来の自分が世界のために役立つイメージをふくらませる生徒もいた。

3 使用した教材

<教材10> パンフレット『持続可能な開発目標』

<教材11> 教師海外研修の動画

26-30 時限目「生き方を考える」

この時限のねらい

- ・夢をもつことのすばらしさを知り、そのために今自分にできることに取り組むことができる。
- ・1年間の総合的な学習の時間を振り返り、来年度の学習や自分の生き方にいかすことができる。

1 子どもの活動の流れ

- ① 「夢をもつってすばらしい！」
- ② 「ラオスからのメッセージ」 <教材12>
- ③ 「働くってどういうこと？」 <教材13>
- ④ 「夢を叶えるために必要なこと」 <教材13>
- ⑤ 「1年間を振り返って&来年度に向けて」

2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ 三学期の実践のため、まだ行っていない。

3 使用した教材

<教材12> 青年海外協力隊(ラオス)の動画

<教材13> 中学生活と進路(愛知県中学校産業教育研究協議会 編)

全体を通して

1 授業の様子



<なるほど!!この発見すてき☆>



<わかった!こんな考えどう?いいね~>

2 参考文献・資料

- 1) 『世界のともだち』/偕成社 第1期2013年・第2期2014年・第3期2015年
- 2) 『わたしはマララー教育のために立ち上がり、タリバンに撃たれた少女』/マララ・ユスフザイ /学研プラス 2013